

## (2) 伊賀市学校みらい構想基本計画について

人口減少が進む中で児童生徒数の減少とそれに伴う学校の急速な小規模化が進んでいます。技術の発達や新たなニーズ、高温化や感染症の発生など、社会や生活環境の変化により、学校教育を取り巻く環境も大きな変化が起こってきています。

伊賀市の将来を担う子どもたちが健全に育成するための望ましい学習集団の形成と活力ある学校づくりを目指す必要があると考えています。

すべての子どもたちの可能性をひきだす魅力ある学校づくりを目指して、検討委員会では地域の実情を踏まえた中で、基本計画の主な検討、審議事項として次の内容を議論していただきたいと考えています。

- 望ましい学校規模、学校配置について
- 義務教育9年間を見通した学校の体系について
- 少人数を活かした特色ある学校運営について
- 地域社会との連携について

児童生徒数が今後もさらに減少することが予想される中で、「子どもは伊賀の宝」を基本に義務教育の期間である9年間を見通し、子どもたちの資質や能力を引き出し、個性と多様性を尊重し、未来を創造する子どもの育成が望まれます。

伊賀市学校みらい構想基本計画は、学校教育の充実を最優先することに重点を置くとともに、確かな学力と豊かな心を身につけ、健やかな体を育み、未来を創造し、社会の担い手となる力を育成する学校教育やそれを充実するための学校運営を行うために、**ふさわしい学校規模や配置、学校運営等についての基本的な方向性を示すもの**として策定することとします。



なお、具体的な学校の配置や形態等の検討、推進については、基本計画策定後に計画の方針に基づき、対象となる学校区を選定し、保護者や地域住民の参画と合意形成を前提に進めることとします。